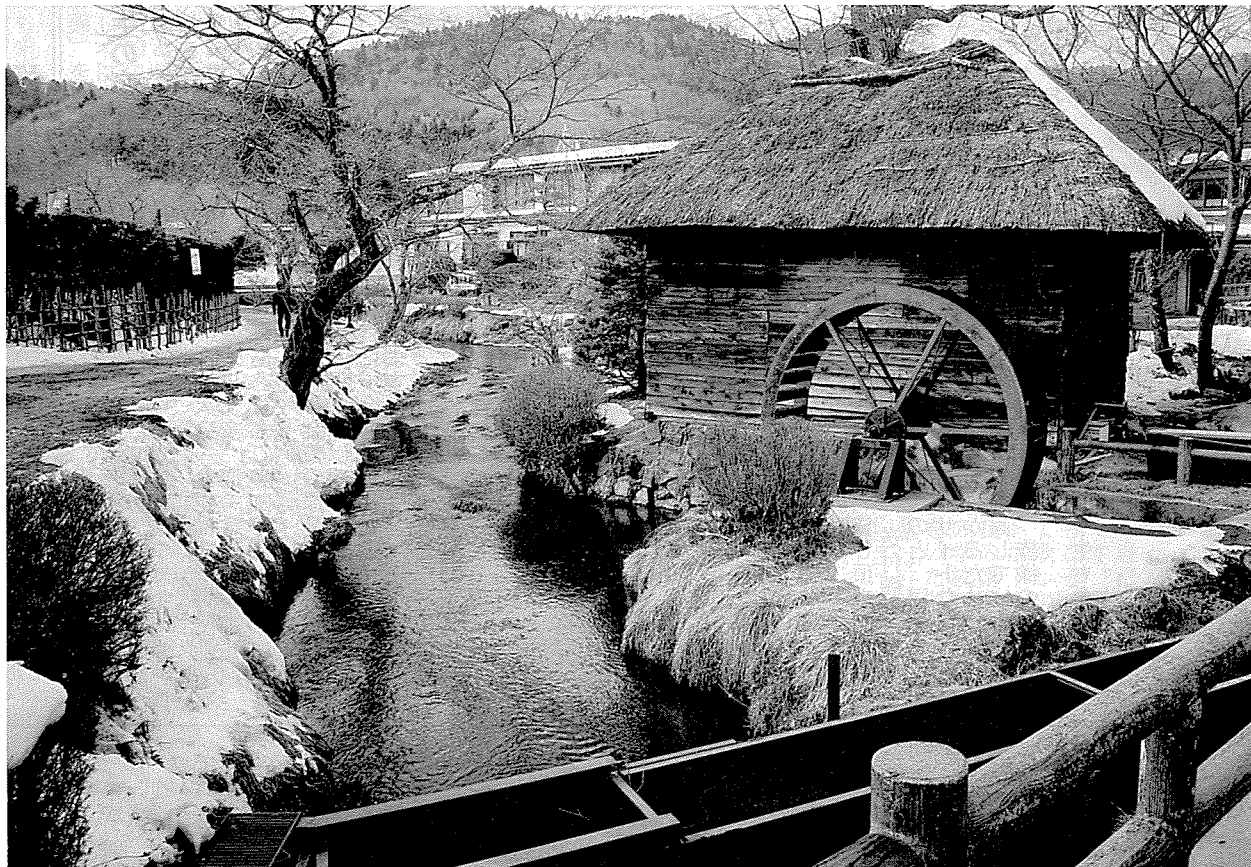


発行責任者 東京都立向丘高等学校同窓会
 会 長 宮 久 保 渡
 編 集 会 報 委 員 会
 事 務 局 〒113-0023
 東京都文京区向丘 1-11-18 向丘高校内
 T E L 03-3811-2022
 F A X 03-3812-4055



山梨県忍野八海にて 撮影：前会長小川力洋氏

同窓会活動のご案内 (やよい会)

①同窓会総会

平成 26 年 4 月 27 日 (日)

受 付 11:30 ~

開 始 12:00

会務・会計等の報告・審議

懇親会 12:30 ~ 15:00

場 所 駒込「磯太郎」

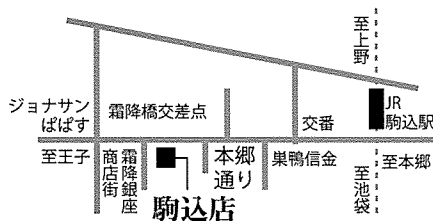
北区西ヶ原 1-55-27

T E L 03-5394-0511

会 費 ¥2,000 円 (他会補助)

申 込 同封の振込用紙にて、

方 法 4 月 14 日 (月) まで
 にお振り込み下さい。



②全国大会

やよい会 群馬県高崎市大会

平成 26 年 5 月 25 日 (日)

時 間 12:00 ~ 14:00

場 所 J R 高崎駅西口前

ホテルメトロポリタン高崎

高崎市八島町 222

027-326-7982

会 費 ¥3,000 円 (他会補助)

申 込 同封の振込用紙で 5 月 12

方 法 日 (月) 必着にてお振込
 下さい。

③学校訪問 (ホームカミング)

平成 26 年 9 月 13 日 (土)

~ 14 日 (日)

時 間 9:00 ~ 15:00

母校向陵祭 (文化祭) 音楽・演劇
 ・研究発表あり P T A 展示室にて同
 窓会作品展示あり。一般会員の出展
 歓迎 (要連絡。宮久保会長まで)

総合問合せ先

〒171-0032

東京都豊島区雑司が谷 3-14-5

東京都立向丘高等学校同窓会

会 長 宮久保 渡

F A X 03-3981-4554

メール miyakubo1405@yahoo.co.jp

ホームページ

東京都立向丘高等学校同窓会

ご挨拶

同窓会の発展と
母校及び在校生の応援を！



同窓会会長
宮久保 渡

一、はじめに
昭和四十五年卒の宮久保渡です。小川力洋前会長を始め、諸先輩のご協力を頂きながら会長就任三年目になりました。昨年に引き続き、同窓会財政の充実、名簿の整備、会報「やよい」の発行、校長先生をはじめ、学校の先生方及びPTAとの緊密な関係を目指してきました。

そしてなりよりも母校及び在校生への応援を心掛けてきました。等々、従来の取り組みを踏まえて活動を展開してきました。昨年の卒業生にはほぼ全員が加入して頂きました。先生方、保護者の皆様のご協力に感謝を申し上げます。しかしながら、課題もいくつかあり、この克服が必要と考えています。

①総会への参加人数が少ない
②役員と会員・会員同士の交流が完全に反映されてない。
③全体を網羅する幹事会体制の未整備
④同窓会・同期会などの情報が会員に不徹底など。

これらの改善を目標し、併せて母校と在校生の応援を一層努力していきたいと考えています。会員の皆様のご協力を心からお願いします。

二、総会・懇親会にご参加を
毎年、会報にて同窓会総会日の発表し、事業報告・会計報告・次年度計画の審議などを行い、議事を決議しております。今年も、学校ではなく、外の会場で総会

を開催いたします。一般的なパーティ形式です。(お酒あり)
同期会・クラス会・クラブのOB会を開催したいと考えている皆様は、是非ご参加下さい。同窓会で応援を致します。多くの皆様が参加されますようお願いいたします。
また、全国大会・今年は、群馬県高崎市で開催致します。群馬県にお住まいの方は、こちらにもご参加下さい。

三、入会金・年会費の拝受
入会金に関しては、一万有余の会員の皆様に、会報発行・発送をさせて頂いております。
年会費のご協力によりまして、会の運営が賄われています。貴重な財産として大切に、かつ有効に活用させて頂こうと感謝を申し上げます。尚一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

四、ホームページの充実及び会報「やよい」の全員配布の継続
二十五年中に、同窓会独自のホームページを作成いたしました。まだまだ不十分ですが、「校歌」、過去の「会報紙やよい」の掲載、また、思い出の写真集として卒業時のアルバムを掲載しました。これは、個人情報保護する立場から「氏名の不着載」「写真の大きさも本人が見て、かろうじて判る程度」など配慮しています。皆様、卒業アルバムをお貸し頂きたいと思っております。(宮久保まで、送付願います)
今後、同窓会全体のもの、同期会・クラス会・クラブOB会サイトなど、会員相互の交流・親睦をはかるため作成委員会をつくり、充実を計画しています。こちらのほうについても、皆様のご協力をお願いいたします。

配布については、新入学生も含め、卒業生全員に行います。

同窓会総会報告

同窓会総会は、二十五年四月二十一日(日)十二時より、駒込駅近くの和食の店でパーティ形式を持って開催されました。総会は、杉浦副会長の司会で開始し、宮久保会長挨拶、櫻井幹事長の音頭による、校歌斉唱を経て、議事に入りました。
①報告事項 ア、事業報告(笹山書記) イ、決算・監査報告(尾道会計) それぞれ満場一致で承認されました。引き続き、②議事項 ア、事業計画(佐々木書記) イ、予算案(尾道会計) ウ、役員選任(宮久保会長) 新役員 仙谷剛(四十五年卒) 幹事長を選任し、他の方は留任を提案しました。それぞれの審議事項についても、満場一致で承認されました。

続いて、懇親会に入り、小川力洋名誉顧問より乾杯の発声をもって、和気あいあいの中で進行していきました。来賓として、神能精一校長・高田敦子PTA会長のご臨席を戴き、それぞれご挨拶を戴きました。引き続き、各自の自己紹介と近況報告を戴きました。
参加された皆様、有難う御座います。今年も友人をお誘い参加されますことを願っています。(役員記)



25年4月21日於駒込磯太郎

未来へのロマンが持てる 学校の創造!



校長 神能 精一

同窓会の皆様、平素より本校を応援いただき誠にありがとうございます。宮久保同窓会長を始め同窓会役員の皆様方の温かいご支援に深く感謝いたします。本校同窓会「やよい会」の発行は一年の締めくくりといえるものです。また卒業生のみならず本校をつなぐ「窓」となるものです。本校ホームページや同窓会ホームページとともに母校とのつながりを意識していただければ幸いです。本校はこの数年、生活指導の充実強化を中心に改革を進め、入選志願者数でも高倍率の人気校になっています。この実績の上で、次なる課題は学力をつけさせて、生徒一人ひとりの進路実現を支援することだと強く思っています。

そこで本校では今年度(平成二十五年)より、中期ビジョンとして「未来へのロマンが持てる学校の創造!」を掲げ、「個々の能力」を伸ばさせ、「自己肯定感」を高揚させて、「豊かな人間性」をもった「社会の発展に主体的に貢献する次代を担う人材の育成」を目指しています。「OJTの推進と組織的な学校運営」、「学校の信頼の獲得、評価」を目標実現への基盤として、学習指導、進路指導、生活指導の三つのコアにそれぞれ、「学力向上の推進による確かな学力の定着」、「組織的・計画的な進路指導による進路実現の支援」、「規律ある学校生活と魅力ある教育活動の充実」を具体的な重点目標として、年度ごとに具体策をもって計画的に学校全体で取り組んでいます。詳しくは本校ホームページの「学校経営計画」をご覧ください。

来が描けない社会というのは、日本もそして世界も元気が出てきません。学校も然りです。未来へのロマン(物語)が描けるとは、単に浮かんではいる「夢」ではなく、そこに至る道すじをもつて自己のストーリーが語れるということです。現代社会が未来をなくしているからこそ、次代を担う若者には未来を描いて欲しいのです。先日、日本マクドナルドホールディングスの原田泳幸会長兼社長の講演を聴く機会がありました。今後の学校づくりのヒントとなるキーワードをいただいた気がします。その中で、「改革は好調な時がタイミングである」、「らしさ」を取り戻す(独自の強さ)、基本を忘れては成長できない「この二つのことばについて考えてみました。」

本校は、先に述べましたように改革を進めた結果、現在入選志願者数でも高倍率の人気校となっています。まさに、改革のタイミングの時です。そして本校の「らしさ」とは何かを考えると校訓にある「明朗」ということではないかと思えます。「明朗」には、戦後の重苦しさを跳ね返して、明るく生きて未来に向かってほしいという宇野哲生先生の願いを感じます。「明朗」とは、言動がはつきりして活発で明るく朗らかなことであり、不正を許さないうそやごまかしがなくきれいな心がその基となっています。

わたしは、この「明朗」を本校の「らしさ」として、未来に向かう本校生徒の強さとしていきたいと思えます。先に挙げた3つのコアの中心は「進路指導」です。充実した「学習」や高校「生活」のもと生徒たちが自己の未来を見据えた進路実現を図ることが最終目標です。こうしたさまざまな要素を踏まえて、向丘高校生として恥ずかしくない「確かな学力」を身に付けさせて皆様の後輩として世に送り出したいと考えています。学校は学年や教科と連携した進路計画のもと全体で進路指導に取り組んでいきます。また、同窓会には、進路ガイダンスや講演会等へこれまで同様人材を派遣していただき、応援をお願いします。

伝統を継承して



副校長 杉渕 明子

今後とも、同窓生の皆さんや先生方とともにこの伝統ある向丘高校を名実ともに充実していきますので、ご協力、ご支援よろしくお願いします。

向丘高校同窓会の皆様、平素より、様々な御支援、御協力を誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

平成二十五年本校に着任いたしました杉渕明子と申します。私の実家は向丘高校より至近であり、本校に通っていた友人、知人も多数おりましたので、着任が決まった時は本当に嬉しくわくわくしておりました。

今までの同窓会報「やよい」も拝読させていただき、思っていた通りの素晴らしい伝統と皆様の活躍をとっても心強く感じました。同時に今後の発展に微力ながらも尽力したいと改めて身を引き締めて過ごしております。

春以降、本校の卒業生から何件か問い合わせがありました。その多くは「友人が結婚するのでビデオレターを作りたい。校舎内で撮影してもよいか」というものです。当時の担任や顧問等が現在も勤務している場合は、その教員に立ち会いを依頼して休日等に来ていただいています。卒業して年数が経っている場合は、知っている教員が既にないため、難しい場合もあるのですが、できるだけ対応したいと思っております。

また、先日は突然一名の方が来校し「向丘の卒業生だが、久しぶりにこちらに来たので、校舎内を見せていただけませんか」と言われました。証明していただけなくても、お断りしようかと思ったのですが、言葉を交わし、自分が一緒に案内しようかと校舎外、グラウンド等だけを歩きま

した。聞けば私とほぼ同年代で、学校群制度の受検のことや、当時の校則のこと、生徒たちの自主性を尊重した行事運営など、様々な話を伺うことができました。今度は文化祭等にぜひお越しくださいとお話ししましたが、本校の変わらないうまいに本当に喜んでいらつしやいました。

母校を思う気持ちは、卒業生のみならず変わりなく、誇りを持って本校を訪れてくださるの、とてもありがたいことです。本校の伝統をかみしめるとともに今後同窓会のさらなる発展をお祈りするばかりです。

さて、今年度も宮久保会長には、入学式をはじめ折々に来校いただき、御支援を賜っております。今夏、女子バレー部が春高バレー予選に出場できる都ベスト23に入りましたが、この快挙に対し、同窓会から御芳志をいただきました。

残暑厳しい二学期最初の表彰式時に、宮久保会長からバレー部部长へ手渡され、部員たちもさぞ誇らしかったと思います。また、同窓会の方たちが応援してくださっているということを生徒たちも認識し、大きな励みになりました。

本校は、昔からパワーある生徒たちが集まり、様々な分野で活躍しています。現在は、この女子バレー部、剣道部はほぼ毎年東京都ベスト32に入る活躍です。吹奏楽部は今年度のコンクールではB組において見事金賞を受賞しました。卓球部も頭角を現しております。およそ8割の部活動参加率の中で、本当に頑張っていると思えます。

また「次世代リーダー育成道場生」として、一年生二名が、一年間の留学をします。センター試験の受験率も六割を超えました。これら生徒たちの活躍により、来年度の入試選抜の倍率はかなり高くなるのが予想されています。

同窓会の皆様の御支援、御協力、期待を支えに、今後も本校の発展に寄与し、伝統を守り伝えていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお祈り致します。

イマドキの向丘生



PTA会長
高田 教子

二十五年度、昨年に引き続き会長を務めさせて頂きました高田です。日頃から同窓会の皆さまには子ども達へのお力添え感謝しております。

さて、今年度の向丘の生徒達は何しろ天候に振り回された一年でした。皆さまもご存知の通り、生徒達の一番の楽しみでありました向陵祭の二日目は台風により中止となりました。この場を一年間の集大成と位置づけ、準備をしてきた生徒達にとってはとても辛い決断だったと校長先生のお話でした。しかしながら、子ども達の安全を最優先に考えての苦汁の決断で仕方なかったと思えます。そして、校長先生のご配慮で翌日の片付けの予定を変更して向丘の生徒達限定ではありましたが、内部だけの向陵祭を行いました。子ども達はまた例年とは違った向陵祭の楽しみ方が出来たようでした。このような特別なケースにもすぐに対応し楽しみに変えられる子ども達の柔軟性に私は感心しました。

また、二年生の修学旅行も同様に台風の為、沖縄から帰路の飛行機が飛ばないというアクシデントにみまわれました。引率の先生方、旅行会社の迅速な対応により、子ども達の安全を第一に一日の延泊となりました。沖縄本島台風直撃の中、屋敷や日用品の買い出し確保やホテルの確保移動など、もう手のかからない高校生とはいえない総勢二八〇名の大人数それだけでも本当に大変な事だったと思えます。無事、安全に修学旅行を終えて頂き、また事、先生方には本当に感謝しております。そしてそういった時、向丘生の切り替えの早さには驚かされます。我が子など、「二日得したように楽しかった。」と帰宅忘れられない修学旅行になった。」と帰宅後話しておりました。これも先生方の指

導のおかげ、そして向丘生の柔軟性の良さの表れだと思えました。この二年間向丘PTA会長として度々学校を訪れ、向丘の生徒を見ていて、「イマドキの高校生」という言葉でひとくくりにされている個性のないと言われる高校生が多い中、しっかりと自分の主張をもち、表現出来る高校生、社会の変化に柔軟に対応している、それが向丘の生徒なのだと感じました。表現の仕方はそれぞれで、スポーツであったり、文化の形であったりですが、自分勝手な主張でなくその場にあった、それこそ今の世の中が望んでいるこれから社会に出る理想に近い子ども達の姿がみられます。

今年度、運動部では女子バレーボール部が春高の予選に駒を進め、剣道部は男女アベックでの都大会出場となりました。また、テレビでご覧になった方も多いかと思えますが、東京国体の開会式にはダンス部の生徒が出演致しました。文化部では、茶道部の生徒達が東京都主催の「大江戸茶会」で会場の浜離宮で野点を行いました。今、向丘生は学校から先生方のご協力のもと、外の世界に向かってどんどん羽ばたいています。私たち保護者も出来る限り、「イマドキの子ども達」が世間を通して「イマドキの向丘生」になれるようバックアップしていきたいと思っております。

同窓会だより

「古稀を祝う会」

昭和三十七年卒 寺村 光司

三年毎に開催する同期会も回を重ねて八回目となりました。今年はずいぶん七歳古稀を迎える年となり、何とか大勢の人に「ご参加いただきたい」と考え会費を五千円以内と定めて会場を探しました。各クラスの幹事さんの了解を得て、六月十五日(土)午後一時から後楽園飯店にて開催と決定いたしました。開催通知は、先生六名、会員二〇六名

に発送いたしました。会員は約三〇〇名ですから、物故者・不明の方合わせて約一〇〇名になります。

先生からの返信は、体育の板井哲夫先生からは「ご出席のご返事がありませんでした。B組担任の那須公順先生の奥様からは、昨年亡くなられたとのご返事でした。体育の橋本力先生のご長女から、本年四月に亡くなられたとのご返事でした。生物の近藤節子先生からは、高齢のため参加できないとのご返事でした。さて当日は天気にも恵まれ、十二時過ぎには各クラス幹事全員集合し、参加者の到着を待ちました。

ほぼ予定通りの一時に開会を宣言し、まず物故者の黙祷を捧げました。会務報告をしたのち、ご出席の板井先生にご登壇いただきました。

板井先生からは、古稀を迎えおめでとうのお話をいただき、各自に古稀の謂れを記した文章をいただきました。その後の会話で先生が八十五歳になられたとこのことを伺い、びっくりしました。先生には高額のご寄付をいただき感謝申し上げます。また次回も出席いただけると、力強いお言葉も頂きました。会の方は各自各組で楽しく話をしようとのことで、一切の決り事もなく進みましたが、最後になって皆の顔も見たいし、話も聞きたいということになりました。各組各自で自己紹介あり一括紹介のみで終わりと、さまざまに盛り上がりほぼ時間通りの三時半に閉会となりました。当日の出席者は、A組十一名、B組十三名、C組十名、D組十名、E組七名、F組十七名の六十八名でした。会員の皆様のご活躍とご健を念じ、再会を楽しみに筆をおきます。



「にぎやかに70年卒が同期会」

昭和四十五年卒 浜田 明彦

「おう、やっぱり老けたな」「きみこそ、四十年ぶりだものな。でもすぐわかったよ」

そんな会話があちこちでひろがった。二〇一三年十月二十六日、東京・永田町の都市センターホテルで一九七〇年(昭和四十五年)卒業の同期会が開かれた。二〇一一年に還暦のタイミングで開かれて以来二年ぶりだ。F組の担任を務められ、御年八十歳を超えられた江川先生をはじめ、卒業以来初めて顔を見せた人を含めて四十三人が参加した。



世間的には定年を過ぎて二年経っている。組織の呪縛から解かれてホッとしている人、まだまだ現役で緊張のなかにいる人、子育てを終え自分の時間を楽しんでいる人、孫の話題で盛り上がりつつある人たち。環境は様々だが、あつという間に時間の溝は埋まり、みな青春時代に帰って会が始まる前から話の花が咲いた。会の冒頭、残念ながらすでに鬼籍に入った同期を偲び黙祷が捧げられた。乾杯が終わると集まったかつての同級生たちは堰を切ったように話しはじめた。「どうして?」「いろいろあつてさ。でも元気でしたよ」

「いやあ、会えて嬉しい」「私も」「修学旅行のときさ、覚えてる?」「そうそう、覚えてるわよ」そんな会話の輪がいくつもできた。

しばらくして、A組から順に一人ずつ近況報告があった。それぞれの輪は前のマイクに入った。発言するその人の人生に聴き入った。

卒業は七十一年安保の年だった、大学卒業後にオイルショック、働き盛りはパブルとそれがはじけた時代。昭和から平成へ。皆懸命に生きて、生き抜いてここに集まった仲間には皆いい顔になつた。

がむしやらに生きていた時期は、同期会もなかなか開けなかつたが、今後はその時期を開けずには開くことが確認されてお開きに。幹事が把握しているのは夜も更けた三回会まで。みんなまだまだ若い！

「十二月二十九日の向丘55年会」

昭和五十五年卒
世話人代表 浦野良一

はじめに、昨年に続き掲載していた、だきありがとうございます。

毎年世話人(幹事)同志で反省会兼ね新年会をやつていたのですが、その席でここ数年「十二月二十九日の向丘55年会」の席で会への意見や要望事項等アンケートを取つていた内容を確認、議論しています。例年確認だけで実際行動に移せなかつたのですが、このアンケートの中で「十二月二十九日だけの一回だけでなく春先、秋口にかけ何か集まれる会も企画してほしい」と一番要望があつたので昨年は二つの企画をたてました。

一つめは、初夏に気軽に参加できる日帰りバスツアーを企画し八名の参加をいただきました。ミス터리バスツアーと称して行先が直前迄解らないちよつとわくわくしながらの楽しいツアーでツアーコンダクターよりドライバークンモアで笑いが絶えないツアーでした。しかもお土産つきでちよつと嬉しかったです。

二つめは、秋深まる頃ですが健康にも気をつかう歳にもなつたのでマラソン大会の参加を募りました。川越マラソン(ハーフ、10km、5km)の参加をやはり予想はしていたのですが一名だけでした。

【実は我々世話人(幹事)は皆に声を掛けていたにもかかわらず、しかもその一名が千葉の方からわざわざ参加なのですが世話人全員がこの川越マラソンに定員オーバーで申込みできなかった大失態をしてしまいました。代表して世話人二名が応援にいきました(笑)※肝心の世話人はその前の週の上尾マラソンで走りまじり、そんな感じで更に親睦を深めています。勿論の事ですが、昨年暮れも「十二月二十九日の向丘55年会」を執り行い過去最高人数の三十二名の出席をいただきました。皆、三十三年前の向丘高校時代にかえり満面に笑みのこぼれる楽しいひと時を過ごせました。これからも生涯大親友の「浅野・中野・戸部・東條」皆と絆・親睦を深め、笑顔で語り合える【輪】を広げていきたいと思つていきます。



「個人からのおたより」

昭和四十五年卒 仙谷 剛

私の中学は、第二学区の新宿区西戸山中学でした。当時私は、越境入学しており、所沢から通つておりました。従つて、一番近い、赤城台高校が入学希望でしたが、あの悪名高き学校群制度が、私の入学時から始まりました。この制度により、希望した高校に行けなくなり、都立離れで、都立高校の低下に陥りました。私も聞いた事が無い第四学区の向丘高校に配属され、一番遠い高校でした。

中学からサッカーをやつており、向丘に入學してからサッカー部に、入りました。校庭は石がゴロゴロで、狭く、

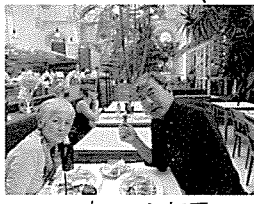
ハーフコートしか取れません。野球部と交代制で、週に二、三回しか練習できず、弱いがサッカー部でした。点は取れなかつたが引き分けでコイン勝ちが強いチームでした。私も点を入れたのは、都立文京高校戦での一点のみでした。

今、思い起こすと、文化のある地区でしたので、もつと散策しておけば良かったと反省しています。若し頃は、そう言うところは、考え付かず、今になつて向丘界限を巡つております。

実を申しますと、私の妻も向丘高校一年の時、隣の席に居り、学校帰りに今は無き、銀座東劇で俺たちに明日は無いら言ふ映画を見、フードセンターで海老スタゲティを食べたことが思い出されます。

卒業してからも、会長の宮久保君とは、毎週の如く、テニスをやり、居酒屋で酒を交わしております。

年末には、三年の同クラスの栗田君と山本君と万座温泉で「濃厚な温泉に浸り、豪華な料理で、酒を酌み交わし、新年会は、池袋でまた酒を酌み交わしております。



ウィーンにて

と会つても、健康であらねば、楽しくもなく、酒も飲めません。(毎日、酒飲んでますが)、妻とも、旅行に行き、楽しく過ごしたいと思つております。

「吹奏楽部の思いで」

昭和四十年卒
杉浦 重治



吹奏楽部にはいったもののさて何の

楽器ができそうか？打楽器ならたたけば音が出るからこれしかない。そこで、まずは横(今はスティックというのか)の持ち方、たたいた時のフォークのから指導していただく必要がありました。始まる前に体育館内の楽器その他もろの用具が収納されている倉庫で一人練習をしました。授業の合間には膝の上をたたいて、放課後は黒板、机、外壁の縁等々でキズが目立ち練習を重ねました。左手の親指と人差し指の間が擦り切れて血が溜み、人差し指にはタコができた。先輩からはそのくらいならなれないと形がでかくなると言われていたが、それを実感しました。

皮が伸びきつた感じが、まず小太鼓。在校中に楽器店からカタログ集めをし、卒業後に当時流行り始めていたパールのプラスチック製のものが購入されたので、大きめに訪問した。次にシンバルの持つた大きさを割りやや重い。沈んだグレイである。白山の薬局で磨き粉を購入し懸命に磨いた。甲斐があつた。わりピカピカに輝いた。しかし音は変わらぬ。第四学区の音楽祭で大きく板橋高校吹奏楽部のシンバルがどくどくキラキラ輝いていい音を出していたので羨ましかった。最後に大太鼓。三年の頃だつたらうか、皮が破けてタコ糸で縫い合せてしばらくの間ごまかしていたが音が漏れてどうしようもなく大分たつたから皮を購入した。このように楽器事情だつたが、数十年後のホームカミングの席上で、たまたま先輩から吹奏楽部創設の経緯の話が出て、その理由が分かつた。当時の校長に楽器を寄せ集めた予算がないので中古の派な楽器を使つたようです。今では立派な楽器を使つたようです。

吹奏楽部のOBの方、同窓会に出席してそれぞれの時代の思い出話、近況などを交歓しませんか。

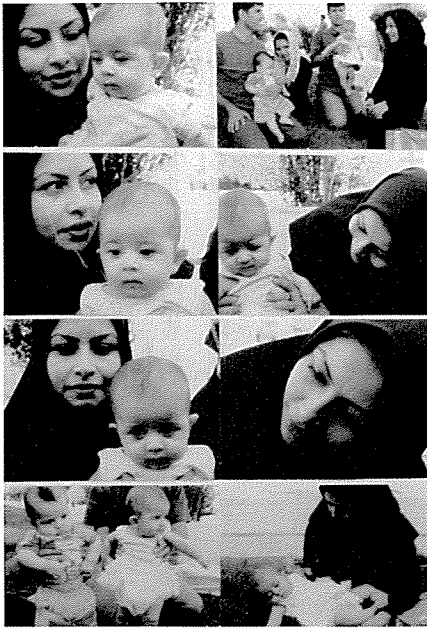
あの街 あの人の遺跡

昭和三十六年卒
田中 正明

「冷え込むアラブの春」「六カ国制裁を一部緩和」、北アフリカ諸国とイランの動静を伝えた本年一月の新聞の見出しである。

旅行で訪れた国や地域には、興味を持ち続けている。旅行の記録の一端を本紙に、また先々で撮った写真の一部を母校の文化祭で在校生に向けて展示をさせていた。生きてきた。これらの素材を通して人々の日常の生活を僅かでもお伝えしたいと考えたからである。

複雑な歴史を刻む一帯の国々は、なお様々な要因をはらみ休止することなく混乱と悲劇が連鎖している。かつて訪れた国のシリアとイランに想いをし、上記の標題のもと、二十四年と二十五年の文化祭では写真展示を行った。紙上をお借りして、文化祭で展示させていた。写真パネルの何枚かを掲出させていただきます。



あの街 あの人の遺跡Ⅱ

昨年の8月20日、ジャーナリストの山本美香さんが、シリアアラブ共和国の同国第二の都市アレッポで取材中に殺害されました。

これより早く国連による和平調停活動が頓挫し停戦監視団が完全撤退、その後政府軍と反体制派との戦火は一段と激化し、連日多数の死者が出ていることが報じられていました。そのような状況下での悲劇であったのです。それから一年が過ぎましたが、同国では政府軍による化学兵器の使用が取りざたされるなど、内線の様相は悪化の一途をたどっています。

私は北アフリカ・中東・西アジアの10カ国と、その先に続く中国のウイグル族・チベット族の自治区へ入国（入境）したことがあります。旅行の都度、先々の遺跡や街で、古代から続く歴史や文明の悠久さ、先人の知恵を感じました。また、出会った人々は尽瘁で暖かく、多くの街は素朴ながらも活気に溢れていました。

しかし、現在の時点では同地には、外務省から避難勧告や渡航延期勧告が出され入国出来ない国や地域があります。昨年「あの街 あの人の遺跡」というテーマで、平和であった内線直前の「シリアアラブ共和国」の写真展示しました。今年は「あの街 あの人の遺跡Ⅱ」として、1970年のイラン革命後の核開発問題に端を発し、多くの国々から経済的制裁を課され続け、国民生活が疲弊の極みにあると報じられている。「イランイスラム共和国」の写真46枚を展示します。同国を訪れたのは2008年9月のことでしたが、日本人の国際結婚も希有でなく（撮らせていただいたご家族の写真もあります。祖母は同国に住む娘夫婦の許を初めて訪れたとのことでした）、日本と日本人に親しみを感じてくれている人が少なくありませんでした。

なお、写真の遺跡は紀元前にオリент世界を統一し、反映を極めたアケメネス朝ペルシアの都ペルセポリスです。世界遺産に登録されています。

同国の人々の素顔をご覧いただき、この地域に関心を寄せていただく契機になれば幸いです。

「マレーシアのロングステイ」

昭和四十五年卒
奥野 晴雄

去年の十一月にKL市内より車で十分の郊外に、4LDK(約二五〇平米)の新築マンションを家賃十一万円/月(家具、プール、テニスコート付き)にて居住しています。
スーパーには日本食コーナーも充実し、主食のお米、パン、肉、魚、野菜などは豊富で日本の1/2、1/3の価格です。

気候も温暖で、今は雨季ですがスコールが一日に一回ある程度、朝晩は24℃前後で快適です。
マレー、中華系、インド系と文化、人種も多様で、約九割の人が英語を話すので片言英語で交流出来ます。
世界で六番目に安全な国日本とは比べ物になりませんが、比較的治安も良く、ルックイースト政策のお陰で日本人にはとても親切です。世界で一番充実している日本人会があり、私どもも是非一度マレーシアへお越し下さい。



「定年に思う」

昭和四十六年卒
笹山 幸子

同期の皆様、お変わりありませんか。私は昨年三月、永年勤めた会社を定年退職し、今は引き続きシニア社員として働いております。この間三十八年、振り返ると様々なことがあり、それら成長できたのではないかと感じます。人生楽しいことばかりではありません。ですが、それら全てが私の成長の糧となり、一言で「勉強になった」と言えます。

又、私の周りでは一昨年から、「久しぶりに集まろうよ!」ムードが盛んになり、一昨年には二十年ぶりに小学校のクラス会、そして昨年はその拡大版として同期会を開き、大盛況でした。この年になると皆の生活も落ち着き、昔を振り返る気持ちの余裕も出てくるからでしょうか?小学校時代は接点がなく同じクラスでも話すこともなかった人とさえ、同期という仲間意識からか、自然に接することができてくるから不思議なものです。私はその一幹事にすぎませんが、一緒に会計を担当した人と親しくなり、今もお付き合い頂いています。「お互いいろいろな経験した女同士、これからは楽しく生きていきたいね」という思いが一致したからだと思います。この付き合いが今後も続いていくよう願っております。一方、中学校、高校のクラス会はないし、同期会を開きたいという思いも湧いてきました。中学校はそれでも小学校と重なるメンバーもいますが、高校となると通学範囲が広がる為、なかなか会うことも叶わず、又私のいたD組は卒業後一度もクラス会が開かれていないので、全然消息がわかりません。毎年同窓会報「やよい」が送付されてくると同じクラスの消息不明者の多いこと、びっくりするほどのです。その中に消息の分かります人がいれば連絡することにします。それがなかなか思うように入社準備に苦労した経験から、何とかして高校のクラス会も実現させたい。という思いが強くなりました。高

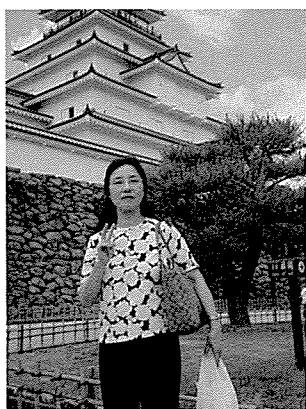
校時代に親しくしていた友人から四十年ぶりに連絡があり、一昨年再会を果たし、とても感動しました!お互い相手に気づかなかつたらどうしよう?などど心配していましたが、それも取返し苦労でした。四十年の空白はすぐ埋まり、楽しいひと時を持ってたこと・時間が足りず次の再会を「きつ」と約束してその日は帰途につきました。彼女はシャンソン歌手として今頑張っており、「歌うこと」で人々に幸せを届けています。先日、その彼女のソロライブに先の友人と行き、二人とも感動をもらいました。その彼女からも、「是非クラス会を開きましょうよ!」という熱い思いを受けているので、今年か来年には実現できたらと思います。昭和四十六年卒D組の皆様、ご連絡だけだけでもいいと思います。一緒に「よし!」と思われた方、是非ご協力ください!。勇気を出して、一歩前へ踏み出しましょう。きっと楽しい再会になると思います。一人でも多くの方からのご連絡をお待ちしています。私自身も卒業時に決定された幹事でもありません。ただ、長女が同じ高校を卒業した関係から同窓会幹事を引き受けているので、もしご協力いただける方がいらしたら、是非一緒にクラス会開催に向けての準備を頑張りたいと思います。本会報「やよい」の最終頁「役員一覧」に連絡先が記載されていますので、そちらをご参照ください。よろしくお願いたします。

「年を重ねるといこと」

昭和四十七年卒
佐々木郁子(旧姓遠野)

子どもの頃から視力の良いのが自慢だった私も、年を重ねて最近では眼鏡を使っている。
「遠近両用目なし」というものだから、使い始めはうれしかった。眼鏡から見る景色や、鏡に映る眼鏡をかけた自分を見るのが新鮮だった。でもやはり裸眼に勝る物なしと実感したのは、夏の暑さだった。
汗で度々眼鏡が曇る。でも汗を拭くには眼鏡を外さなくてはならず、手荷物がある時など、外した眼鏡を持つのも不自由する。

年を重ねるといことは、こうして不自由なことが増えていくことなのかと、心の内でぼやいていたのだが、盲ろう者の講演会に行くと目が覚めた。盲ろう者が抱えている苦労に比べたら、私のぼやきなど次元が低くて聞かなくても悪くない。その方が生れつき見えなくなった方だった。まだ視力があつた頃に使っていたという眼鏡やルーペを見せられたが、その分厚さや重さに驚かされた。指点を失ってからは、触手話・点字・視力字・手書き文字などを学習して人とコミュニケーションを取っているようだ。
今は点字で読みとりや入力ができるパソコンがあるので、友だちとメール交換もしている。友だちとメールを送る上での不便も目のあれこれの悩みを絶する。しかも目の最大の悩みは家族とのコミュニケーションだとい



うから、悩みは奥深い。
人や社会とつながるために、こんなにも努力を必要とされる人がいるのだ。私はしみみ反省した。安楽な生活に甘えて、それまで享受して来た生活がなくなつた。年を重ねただけで、こんなに視野を持って社会の役に立たなくて

はならない。今まで生かされてきた感謝の思いを重ねつつ。



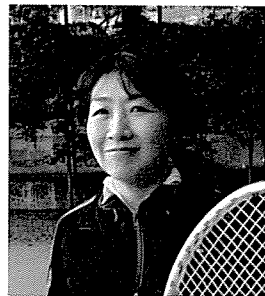
昭和五十五年卒 佐々木 朱磨子

私は向丘高校の時、女子バレー部でした。女子バレー部は厳しい方だったと今でも思っています。毎日、毎日練習で汗を流し、時には涙をも流し、あ、私は流さなかったかも(笑)。冬には手のひらが割れてしまい、バレーボールが血で汚れたこともありました。休むことなどとても出来ず、歯が痛んでも病院でも行かずに練習をしていました。校庭での練習ではたとえ雨が降ろうが、泥まみれになつてボールを追いかけていました。(痛んだその歯は結局引退後に神経を抜くことになりました(汗))

なこの私に大変熱心にご指導してくださる先輩方もたくさんいらつしやいます。

ある日、コートの中のベンチに座つていたら、やたら向丘、向丘と言う言葉が聞こえてきました。お聞きすると、なんとテニスを今でも楽しんでる向丘の大先輩がテニスのお仲間の中に四人もいらつしやつたのです。先輩の皆さんもやはり、とても生き生きと楽しんでテニスをされてます。とても楽しそうにお上手で、皆さん本当にお若いです。

熱心にテニスを指導くださる先輩方のうちのお二人は向丘の大先輩でした!! 下手をする中にもなにかねないテニス! 私は多分、もう中毒になつてます。テニスは本当にオススメです。楽しみながら健康にもなりますし、友達、先輩、知り合いがどんどん増えます。それに私はここ数年の間、何をしても痩せなかつたので、昨年八キロも痩せました! 皆さんこの中オスは本当にオススメです。



「軟式テニス部OB会(向庭会)」



昭和四十一年卒 谷嶋 一二三男

「向庭会開催」

昨年引き続きOB会を開催いたします。多くの方の参加を期待しております。日時は、同窓会に便乗して同時開催です。開催の案内が届かない方もおりますので、お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。

全国大会(千葉大会)報告

千葉大会は、二十五年六月六日(日)午後十二時より、本千葉駅前ホテルで開催いたしました。当日は、同窓会幹事十名、千葉県在住者七名計十七名で開催されました。いままでの全国大会は、現地在住の方の参加が少なく寂しかったのですが、昨年は多くの方の参加を戴き、盛り上がりつた会を開催出来ました。(有難う掛けのハガキを出しました。)



その他報告事項

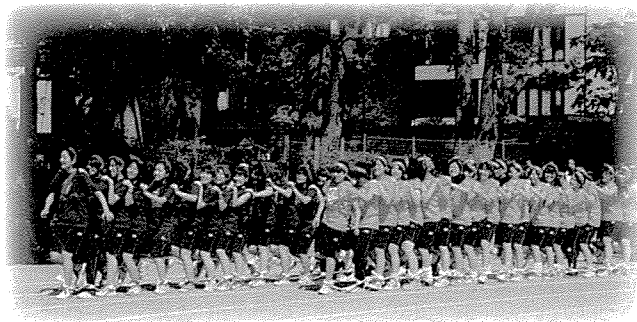
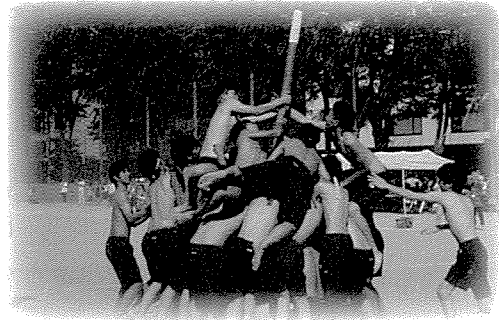
①学校との共催で在校生への講演会 岩井治美さん(昭和五十一年卒)十二月十八日 六階ホールにてご本人の高校時代とその後のスチュワーデスの体験等を報告し、「夢を追い続けて、努力をすれば必ず実現する」旨の講演をされました。生徒達は、熱心に聴き、多くがメモをとっていました。校門から外を歩いていた時も、何人かの生徒から声を掛けられました。



“母校で講演”OB岩井治美さん



体育祭



(PTA会誌より転載)

向陵祭

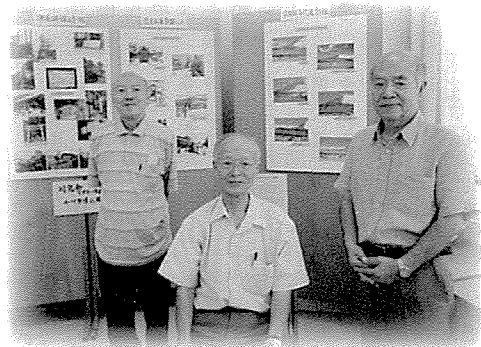
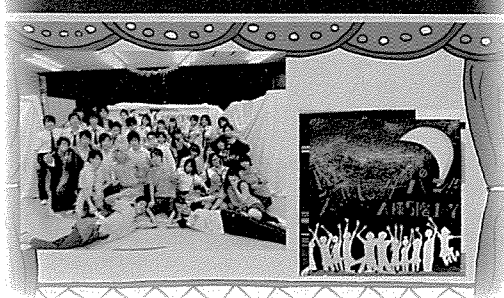
3-2 豚と真珠



1-5 男女逆転ファッション

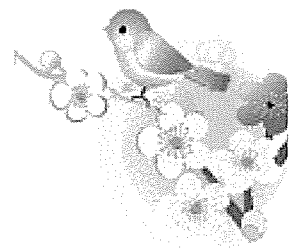
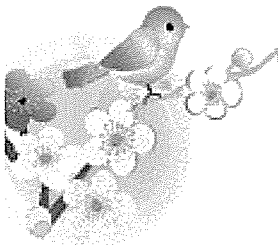


1-7 え?ピーターパン!?!?



同窓会出展コーナーにて
左から、三田昌男氏、小川力洋氏、田中正明氏

寄付者・会費納入者一覧



平成25年度中に寄附金・年会費をお振込頂いた方々です。(敬称略)
 尚、3,000円以上の納入は寄付者扱いとして掲載させて頂きました。
 ご協力誠にありがとうございました。有効に活用させていただきます。
 尚、記載漏れがありましたらご連絡下さい。(26年1月20日)

寄付者名一覧

- ◆旧職員
井口 磯夫
板井 哲夫
北村 正生
石井 隆夫
池永 武昭
北村 透
新城 昇
前園 実
関根 茂
戸谷 賢司
◆現職員
神能 精一
杉淵 明子
大塚 美子(池田)
◆S24年卒
宮下 明子(小野)
◆S25年卒
夢田喜久子(福田)
◆S27年卒
大井 弘子(市川)
木村 弘子(川島)
◆S28年卒
中西多恵子(山田)
小口トシ子(飯塚)
早船セツ子
◆S29年卒
金子 寛子(山中)
鈴木 重雄
長井 広美(岡戸)
上杉 益子(大沢)
橋田美智子(山口)
瀬沼 勝
◆S31年卒
小川 力洋
中村 豊
川端 春生(三橋)
高尾 和子(杉本)
増子 明美(若生)
居村 正久
木村 隆
沼田 敬二
堀田 巖
三田 昌男
永島美子(福岡)
◆S32年卒
金沢 英夫
河野 友麿

- 津坂 敬子(石神)
◆S33年卒
櫻井 弘清
鹿住 釋子(森)
◆S34年卒
栗田 誠吾
永田 正博
山口 正紀
立花 玲子(古川)
◆S35年卒
五十嵐光俊
久保 雄南
友部 佳子(立川)
◆S36年卒
田中 正明
松本 和子(大野)
岩井 和子(大野)
遠藤 泰紀
鶴岡 実
◆S37年卒
寺村 光司
茂木 昭雄
宮下紀恵子
篠崎 安雄
勝部 邦彦
◆S38年卒
小野 勲
◆S39年卒
湯浅美保子(奈良)
◆S40年卒
鳥飼 重和
富永七子(小林)
橋 明
海和 秀男
杉浦 重治
小山由記子(吉田)
◆S41年卒
吉田 恵子
溝口 進一
杉原 和子(松村)
尾道 郁代(大橋)
長谷川三枝子(原)
◆S42年卒
米谷 省吾
皆川 和美
高野 一義
菊池 武博
大和田正子(五十嵐)
◆S43年卒
鈴木 幹夫

会費納入者名一覧

- ◆S24年卒
高木 芳江(高木)
堀田 恵津(山田)
井上 早苗(阿部)
永井 節子(小籠)
◆S25年卒
前田恵美子(田辺)
増田ヨシイ(小林)

- ◆S27年卒
榎本 裕子(高橋)
中村 良憲
◆S45年卒
宮久保 渡
金澤 信子
粕谷 卓志
仙谷 剛
山口 義朗
三池美恵子(朝倉)
◆S46年卒
恩村 一郎
山内 和子(中山)
笹山 幸子
◆S47年卒
佐川 海道
佐々木郁子(遠野)
◆S48年卒
本多 和子(国分)
高根 優子
◆S49年卒
小谷賀津子(岡本)
今出 隆久
◆S51年卒
渡辺 陵子(木村)
◆S52年卒
松井俊明
◆S58年卒
旗野 敏弘
◆S59年卒
千田二仁江(樋口)
◆S61年卒
今井美代子(清水)
◆S63年卒
目黒 利枝(菊池)
◆H元年卒
横山 信夫
◆H5年卒
高橋 康隆
◆H22年卒
高崎さつき

- ◆S27年卒
瀬戸口弘子(馬場)
高橋 清子
安土 靖子(川崎)
幸田 俊子(岩田)
長谷川千代(中沢)
酒井美代子
舟橋 和子(荒川)
◆S28年卒
岩松 英子(塚田)
鈴木 梅代(山本)
堀 満彦
江島 きく(荒川)
久保田慶子(佐々木)
内山 昂子(豊田)
小坂 利子(八木)
小林 恰子(足立)
竹内佐代子
川井恵美子(酒井)
関 富士夫
◆S29年卒
星 直正
照沼 和子(島田)
北岡千枝子(松田)
鈴木 禎子(山崎)
大西 弘明
越中美佐子(越中)
◆S30年卒
加藤 貞子(岩永)
山田 順一
中川 貴子(山崎)
長縄 信孝
棚瀬 妙子(佐藤)
若木 康孝
中村 素子(河野)
安河内恵美子(鷹見)
◆S31年卒
松居 晃
藤永 邦子(金田)
姫野千代子(近藤)
水津 信雄
山田 和子(釘宮)
塚本トメ子(佐藤)
池野 通(高橋)
山本 越子(福永)
石川 継博(池田)
鈴木やす代(渥美)
二瓶恵美子(佐抜)
茂木 恵子(高木)
堀 タツ子(堀)

- 遠藤 恭子(山田)
石山 登
◆S32年卒
深瀬 恒矣
大津 紀男
内藤美恵子(川上)
佐藤 元是
春川 園子(勢)
藤沢寿美子(竹内)
木村 恵子(佐藤)
小西 圭子(城)
◆S33年卒
小林 清明
中河 健男
◆S34年卒
植山榮次郎
郡司 茂代
乙部たみ子(新名)
川勝 洋子(橋本)
森木 紘子(太田)
鹿島 節子(畠田)
藤田 皓一
藤崎寿美江(岩田)
折本 輝子(増田)
鈴木 哲次
鈴木由美子(岡田)
三木 桃子(竹谷)
古林 徹
富澤 久男
壬生田紀夫(三浦)
◆S35年卒
大川 佳代(野崎)
大久保圭子(大久保)
三浦みさ子(江島)
伊藤 述弘
永沢 治子(山本)
大高 勝子(関)
難波田久子(土井)
久保 悠治
清水 幸明
山本 一智(高橋)
不破 浩
金子 操子(村瀬)
◆S36年卒
寺尾ヒロミ
我妻 真典
三野 洋子(前原)
奥村 誠
黒野 宏
◆S37年卒

- 北川 記万
渡辺 光寛
斉藤 和子(小泉)
今村 春江(皇)
鈴木多可子(浅賀)
宝珠山邦子(近藤)
南方 洋子(富田)
山口 洋子(上野)
小黒 由明
牧野 進
浅原婦美子(野原)
◆S38年卒
桜井 昭子(筒山)
梶浦 保子(上見)
宮澤 博子(興津)
太田 和子(豊田)
谷口 昭夫
中後 益宏
◆S39年卒
北田 照子(大山)
木内 明代(田口)
能州 慶次
盛岡 治英
矢萩 公男
大橋いつ子(会田)
上野美江子
加藤 明子(中村)
◆S40年卒
井上 芳子
古川 治子(加藤)
秋山 浩一
宮下 惇夫
石田美智子(村田)
大西 政男
阿部 裕子(山田)
◆S41年卒
青木 紀子(五十嵐)
渡辺 恵美(高田)
町田 悦子(郷)
坂井 右紀
鈴木 正博
原 淑子(近藤)
山口 秀子
杉山 雅之
稲葉 美子
井村 忠
河野 通美
横田代志子(古谷)
大村美登里(田)
谷嶋二三男

- ◆S42年卒
橋川 道雄
渡辺 幸恵(岩永)
榎田 照良
福嶋 正雄
岩崎 芳秋
◆S43年卒
伊達 清二
山邊 光久
豊野 英正
石川 明枝(石川)
加藤 和子(大久保)
◆S44年卒
加藤 篤子(内藤)
紀陸 則子(平山)
滝田 茂子
松上 恵一
飯野 正則
加藤 和子(堀)
井上 二郎
◆S45年卒
蛭谷 利通
小林 正夫
井出 啓子(太田)
◆S46年卒
広野 弘子(小林)
若山 孝之
石下 淑恵(柴田)
小池 二美(飯島)
石井 洋子
宮浦美恵子(北上)
◆S47年卒
丹下 薫
武田 正敏
矢島 明子(鈴木)
◆S48年卒
関口多鶴子
遠藤清孝
高橋 淳(高野)
柏 英明
須賀 福子(牧野)
◆S49年卒
金子 靖
川島 清次
辻 薫
上野 一成
川崎すみ子(白石)
石井徳太郎
廣木 正一
横山久美子

運営費にご協力をお願い
 会活動活性化に向け、ご提案・ご寄付・年会費等
 のお振込みを、ご協力お願い申し上げます。

- ◆S50年卒
大西 絹子(田口)
五藤 公隆
永井すま子
梶 友寿
◆S51年卒
岩井 治美(女滝)
◆S53年卒
中沢香代子(近間)
◆S55年卒
新井 清一
中野 仁史
大島さと子
◆S56年卒
武智 弘英
◆S57年卒
正 宏
◆S58年卒
梓澤 秀昭
◆S59年卒
木下 玲子(川井)
◆H4年卒
宮本 一成
◆H5年卒
阿部 直子(雨宮)
◆H11年卒
吉田 宗弘
◆H18年卒
野口 哲央

平成25年総会資料
都立向丘高校同窓会平成25年4月21日(日)

《報告事項》

[事業報告]

平成24年度分

(平成24年4月1日-平成25年3月31日)

1 役員会(幹事会)

H24年4月7日(土)

会計監査会 3名参加 於小川事務所

5月20日(日)

幹事会 10名参加 於駒込磯太郎

8月11日(土)

幹事会兼暑気払い10名参加 於駒込磯太郎

H25年1月25日(金)

幹事会兼「やよい」編集委員10名参加

於北区東田端地域振興室

2 総会/懇親会於上野フーズフーズ

H24年4月22日(日)12:00-12:30

報告事項・決算、事業計画・予算案、

役員案すべて、満場一致承認30名参加

12:30より懇親会。自己紹介及び抽選会で多

いに盛り上がりました。

3 研究活動(全国大会)

H24年6月17日(日)埼玉県浦和大会

13:00- 18名参加於浦和駅前パルコ・やおまん会報23号8項参照

9月22日(土)~23日(日)

向陵祭に写真作品を展覧3名参加於母校3

階会議室 「田中・川端・小川氏」両日にわた

り役員参観あり10名参加於母校3階会議

室

H24年12月13日

高校との共催事業として、OBによる在校生(1年・2年生)の講演41年率大学教授谷嶋二三男氏「やよい」8項参照

H25年3月9日(土)

卒業式に宮久保会長・小川前会長が出席した。於母校体育館

3月22日(金)

入学説明会に宮久保会長が出席し、卒業時に当会入会の件について生徒・保護者に会長が壇上からお願いした。於母校体育館

4 ホームページの作成について

①実務打合せ(メンバー宮久保・目黒・椎名)

H24年5月9日・22日、7月6日・31日、10月3日12月12日、H25年1月11日、原稿入れ、その他電話・メールで多くの連絡。

②ホームページ委員会(メンバー宮久保・杉浦・笹山・佐々木・目黒)H24年10月6日、H25年1月18日(サラトと契約)

③校歌・賛歌の音楽入れ(プロの音楽家・林直子さんに依頼)数回の打合せ、3月上旬入音。

④3月18日ホームページ開始

5 会報関係

H24年12月3日(土)会報企画打合せ会10名参加 於駒込磯太郎

H25年1月25日(金)次年度計画と原稿持寄会10名参加 於北区東田端地域振興室

2月17日(日)「やよい」編集委員会と校正3名参加 於宮久保事務所

3月6日(水)卒業予行会に配布できるよう母校に搬入した。

1200部(在校生750、新入生250、学校等)

6 渉外関係

H24年4月9日(月)入学式に宮久保会長・小川前会長と田中相談役が参列した。

於母校体育館

7月14日(土)同窓会役員・校長・PTA役員との懇親会14名参加 於駒込磯太郎

H25年3月9日(土)卒業式に宮久保会長と小川前会長・田中相談役が参列した。

於母校体育館

H25年3月9日(土)PTA主催の卒業式を祝う会に宮久保会長が参加した。

於巢鴨「たむら」

7 振興助成

H25年10月在校生の一人に制服及び体操着を送った。(火事にあい、全焼したため、学校・PTAの依頼をうけて)

8 卒対関係

H25年3月4日(金)第64回卒業生の入会者260名について、入会記念品としての個人用特注印鑑を予行日に各組担任先生からお渡しを戴いた。

[決算報告]別紙決算報告のとおり

《審議事項》

[事業計画]案平成25年度分

(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

1 総会・懇親会の件

やよい23号1頁参照①

H25年4月21日(日)

2 全国大会・やよい会千葉県千葉市大会開催の件

やよい23号1頁参照②

H25年6月16日(日)

3 ホームページの充実

ホームページを充実させるため、努力をします。

①同窓生の同期会・クラス会・クラブOB会など多くの情報を戴き、発信します。

②既発行分の「やよい」の掲載をします。

③卒業写真など、掲載していきます。

4 向陵祭参加とホームカミング開催の件

やよい23号1頁参照④

向陵祭H25年9月14日(土)~15日(日)

9月15日(日)15:30~懇親会掃催予定

5 同期会・クラス会への通信費の助成

呼びかけ人数1通につき¥200報告文を受け取り次第、代表幹事の指定口座宛お振込致します。会合の集合写真等を添えて宮久保会長宛速やかに郵送して下さい。3分の1を同窓会への寄付を依頼(総会で確済済)

6 広報誌の発行と発送

(会員相互の意志の疎通を図るため)

平成26年3月に「やよい」24号発行の予定

(会員・クラス会・同期会等の適切な投稿を歓迎)

原稿締め切りは1月末とする。20歳までと65歳以上及び寄付者・会費納入者には全員配布、他は、偶数年の方に配布。

7 新卒業生の入会者に記念品特注印鑑セットを贈呈する。

8 在校生に対する応援事業

クラブ活動などに助成。学校・PTAと協力をしOBによる在校生の講演会等の開催。

9 年会費・寄付金協力をお願い

新卒者の入会金の殆どは会報関係に充当。年会費は1口¥1,000~¥2,000程度運営費としてご協賛をお願い致します。

10 次期定期総会の件

やよい24号紙上に発表予定

[予算]左記の通り

平成24年度会計報告及び平成25年度予算

都立向丘高等学校同窓会
平成25年3月31日

	24年度決算	25年度予算
収入の部	金額	金額
入会金(259名)	2,072,000	1,800,000
年会費(含寄付金)	812,000	800,000
總會懇親会費	99,000	100,000
全国大会費	54,000	100,000
諸会費収入	26,000	30,000
雑収入	0	0
前年度繰越金	2,489,410	2,774,345
収入合計	5,552,410	5,604,345
支出の部	金額	金額
全国大会関係費	101,140	150,000
交通費	65,000	100,000
通信印刷費	149,820	100,000
会議費	128,215	150,000
總會懇親会費	140,000	150,000
催物関係費	13,860	50,000
慶弔費	20,000	100,000
研究活動費	37,875	100,000
振興助成費	0	100,000
会報関係費	1,550,000	1,600,000
渉外費	33,000	50,000
開発費	406,840	300,000
生徒激励費	37,125	100,000
卒対費	91,350	100,000
周年準備費	0	250,000
雑費	3,840	10,000
支出合計	2,778,065	3,410,000
次年度繰越金	2,774,345	2,194,345
総合計	5,552,410	5,604,345

上記の通り収支報告申し上げます。

平成25年4月21日

同窓会会長

宮久保 渡

尾道 郁代 長谷川 三枝子

監査の結果誤りの無いことを認めます。

平成25年4月14日

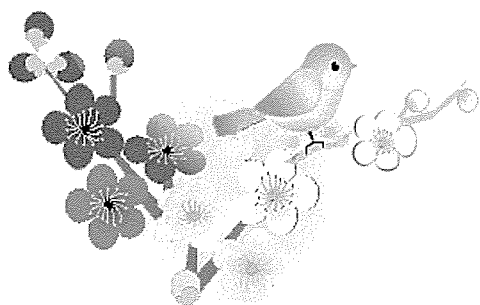
監査

石山 彼早子 寺村 光司

同窓会役員名簿

平成26年(2014)年1月20日現在

顧問	新城 昇	歴代校長
"	池永 武昭	"
"	北村 透	"
"	北村 正生	"
"	石井 隆夫	"
"	戸谷 賢司	"
"	前園 実	"
"	関根 茂	"
名誉会長	神能 精一	校長
名誉顧問	小川 力洋	31年卒
会長	宮久保 渡	45年卒
副会長	三田 昌男	31年卒
"	杉浦 重治	40年卒
会計	尾道 郁代(大橋)	41年卒
"	長谷川 三枝子(原)	41年卒
書記	笹山 幸子	46年卒
"	佐々木 郁子(遠野)	47年卒
"	今井 美代子(清水)	61年卒
"	目黒 利枝(菊池)	63年卒
会計監査	櫻井 弘清	32年卒
"	寺村 光司	37年卒
幹事長	仙谷 剛	45年卒
西日本地区幹事	高尾 和子(杉本)	31年卒
新潟地区幹事	小山 ゆき子(吉田)	40年卒
仙台地区幹事	吉田 恵子(吉田)	41年卒
静岡地区幹事	増子 明美(若尾)	31年卒
茨城地区幹事	友部 佳子(立川)	35年卒
札幌地区幹事	恩村 一朗	46年卒
千葉地区幹事	橋 明	40年卒
事務局	杉渕 明子	副校長
相談役	川端 春生(三橋)	31年卒
"	田中正明	36年卒
"	千田 二仁江(樋口)	59年卒



計 報

山本 春雄	S33年卒	H25.2 享年 75歳
橋本 力 (先生)		H25.4 享年 92歳
水津 信雄	S31年卒	H25.4 享年 77歳
岩崎 周子 (旧姓渡辺)	S30年卒	H25.5 享年 78歳

心よりご冥福をお祈り申し上げます。
ご報告のありました方のみを、お知らせしております。